

年始めに各家庭に一年の幸福をもたらす「年神様」がやってきます。その迎えをするために、まず、神棚や仏壇をきれいに掃除し、それから台所や各部屋をそうじします。お世話になった方々やご先祖さまへの「ありがとう」の気持ちをこめて、家族みんなで大掃除をしましょう。

心も家もきれいにして、新しい気持ちで新年を迎えましょう！

【冬至】十二月二十二日

二十四節気で冬は立冬から始まり、小雪、大雪、冬至、小寒、大寒と続くため、「暦の上では冬至は冬の最中だが、実際にはこの日から本格的な冬の寒さが始まる」という意味です。

冬至は北半球では、一年で太陽の高度が最も低く、昼が一番短い日で、物の影が最も長くなるため、大昔から正確に測定できた。そこでこの日を基点に、一太陽年を二十四等分し、二十四節気が作られました。古代シナでは陰が極まり陽気が復するこの日を「一陽来復」と呼びます。この考え方は世界中に見られ、太陽の復活を願う「冬至祭」が古くから世界各地で行われてきました。

冬至前後、伊勢神宮では、宇治橋の大鳥居の間から昇る朝日を拝める。冬至の日にはちょうど中央に昇るため、これを撮ろうとする人々が全国から詰めかけます。冬至にゆず湯に入りカボチャを食べるのは全国的に見られる風習で、無病息災を



願つてのものです。

【天皇誕生日】十二月二十三日

第二百二十五代・今上天皇のお誕生日です。今年、八十三歳になられます。天皇陛下は、「国民が幸せであるように、世界が平和になるように」と毎日お祈りされ、どんな災害や困難が訪れた時も、国民と苦しみを分かち合いたいと、いつも国民の心に寄り添い、励ましてくださる、国民のお父さんです。そんな天皇陛下のいらっしやる日本は、世界で一番幸せで恵まれた国です。

【大晦日】十二月三十一日(大祓)と(大掃除)

生活の中で気がつかないうちにおかした罪や過ち、心身のけがれをはらう「大はらい」が全国の神社で行われます。百八つの除夜の鐘は、人が持っている百八個の煩惱を取り払う意味が込められています。

大祓というのは、紙で作った人形に名前を書いて息をふきかけたり体を撫でたりしたものを神様の前にお供えしてお祓いをする儀式で、今から千七百年程前の仲哀天皇が崩御なさった時、国として大祓を行ったのが最初で、それ以後ずっと宮中や民間の間で年中行事となりました。

日本においては、人間の本性は、完全に円満な美しい魂をもった日子・



日女(天照大御神の子)であるから、上についたほりりならば、はらったらとれて、本来の姿に帰る、と考えられていました。日本人は祓うべきものは、諸々の罪と穢れという二点にしばっています。罪とは、「本来神の子の本当の姿をつつみ隠していること」。穢れとは、「気枯れ」とも書かれるように

気が枯れること。包みをほどき、気枯れをはらうとは、生き生きと明るく朗らかに、神の子の陽気いっぱいに生きることです。

裸ぎ祓いの根本は、神の子人間の自覚を生き、「天の世界そのままに地上に理想世界を実現する」という古事記に記された国生みのみ心に仕へ奉る(祭り)ことなのです。

その庭からのおたより

晩秋になると、我が家では、球根や宿根草などの花の植え替えを何回かに別けてします。温かい晴れた日の朝、ブルーシートを広げ植木鉢をひっくり返します。球根をまず最初に探します。カエルやダンゴ虫、ブイブイの幼虫、ミミズ、はさみ虫、くも、ヤスデ、ゴミ虫、いろんな冬眠中の虫が、慌てて逃げて出てきます。鉢の下には、水はけを良くするために割れてしまった鉢を小さく砕いて再利用しています。砕き鉢の隙間にニミリメートルほどの半透明の卵が十個ほどくっついてあります。卵の側には、丸々太ったナメクジが卵を守っています。一匹ではありません。二匹です。どちらがオスでどちらがメスかわかりません。



最近の新聞やテレビでは、とても悲しい報道を耳にします。親が幼い子どもを虐待したり殺したりすることです。小さな小さなナメクジでもオスとメスが冬の間中寄り添って卵をじっと守り育てています。動物の世界から教えられる事がたくさんありますね。私達の生命って何なのでしょうね…

どの子どもどの子ども使命と役割をもって生まれて来たはずなのにね。(おもしろ自然教室)

和歌コーナー



ハイキング やまにのぼって やっほーしたよ
やまびこさんが かえってきだよ

年中 H・H

☆山に登ってヤッホーと呼んだら、ヤッホーとやまびこが返ってきたのね。素直な心がすてきです。

てらこやで おなががすいた

おとうさんと はやくおむすびたべたいな

年中 K・S

☆朝から大きな声で素読し、お話もしつかり聞き、お習字もがんばったので、おなががすきましたね。

うめもどき あかとオレンジ あきのいろ

ちいさいみがね かわいいな

小学二年 O・R

☆秋の実や葉っぱの色の美しさに驚いていましたね。素直な気持ちで和歌にでき、素晴らしいです。

もみじのは 色とりどりで きれいだよ

おちる時がね いちばんきれい

お月さま まちのあかりになつていろ

かくれていても きれいだつたよ

小学二年 R

☆もみじの葉が日の光をあびながら、はらはら落ちる時、とってもきれいですね。



こうようは やつぱりきれいだ あきのみち
いちようももみじも やつぱりきれいだ

小学三年 Y・Y

☆京都の紅葉はみごとですね。裕太郎君のお家の近くで、いちようもみじが見られていいですね。

七五三 しゃしんをとった たのしかった

みんなすてきだ またいきたいな

小学三年 Y・T

☆みんなで七五三に行つたのですね。楽しい思い出になりましたね。

お月さま 見上げてみると きれいだな

よるをてらすよ うつくしい月

小学四年 Y・H

☆秋の月は、すみきつて、とてもきれいですね。

しぶ柿は つるされおいしくなりますよ

とてもあまくて おいしいな

小学五年 T・I

☆しぶい柿が、あまい柿に変身。ふしぎですね。

丸い月 光と影で 作り出す

うさぎの子たちと もちつき大会

小学六年 T・T

☆月の世界の楽しいお話を和歌にしています。夢がふくらみますね。

紅葉や 赤く染まるよ 山々は



☆紅葉した山々を見ると、とても豊かな気持ちになりますね。

秋のけしきを ひとりじめだな

中学一年 T・A

今月の論語

子曰わく、

「君子は諸を己に求む。」

小人は諸を人に求む。」

(現代語訳)

孔子先生がおっしゃった。

「君子は何事も自分の責任であると考え

るが、小人は反対に、すべての責任を他人

に押し付けてしまう。」

(解説)

失敗した時にやり直すのは、少し勇気が

いりますね。でも君子は失敗やまちがいを

人のせいにはしません。素直な心で反省し

てやり直します。

小人は反対のことをしてしまいます。

君子の方が素敵だと思いませんか。

「親子で楽しむこども論語塾」(明治書院)より

次回は 一月二十八日(土)です。(文責・藤波)